

令和5年度 事業報告

人口減少が続く中、2025年には国民の5人に1人が後期高齢者という超高齢社会を迎えます。福祉人材の不足、認知症の問題、生活困窮や社会的孤立、子ども・障害児者の支援、災害に対する対応など福祉課題が多種多様化しています。

また、今後の地域福祉を推進していく中で、既存の福祉サービスでは補えない部分には、住民同士のたすけあい「互助」が重要になってきました。

このような中、本会では地域住民をはじめ関係機関・団体とともに地域活動の活性化や介護予防事業の推進、生活困窮者等への支援を行うとともに、ICTを活用しながら、業務の効率化に取り組みました。

さらに、介護職員などの福祉人材の不足は深刻な課題となっており、本会が取り組む介護保険法、障がい者総合支援法のサービスが低下しないよう職員が一丸となって、事業の推進に努めました。

以下、令和5年度の事業計画に掲げた具体的事業等について報告いたします。

1. 活動推進状況

() 内は昨年度実績

1) 地域福祉事業の推進

(1) 地域福祉総合計画〔第3次地域福祉計画・第5次地域福祉活動計画〕の推進

- ・地域福祉総合計画策定の進行管理
- ・社会福祉協議会事業評価の実施

実施日	令和5年6月9日(金)	令和5年6月27日(火)
場所	門川町総合福祉センター	門川町総合福祉センター
出席者	理事5名、監事2名	評議員7名、会長、監事2名
内容	令和4年度事業報告及び収支決算について	

(2) 重層的支援体制整備事業の推進

- ・研修への参加及び関係機関との連携

実施日	令和5年12月18日(月)	
場所	宮崎観光ホテル	
内容	地域共生社会推進研修(プラン作成編)	2名参加

※重層的支援体制整備事業

高齢者・障がい者・子ども等の対象で区別することなくそれぞれの事業が連携して総合的に実施する事業

(3) 地域での見守り交流活動支援

①地区福祉推進委員会活動の推進

地区福祉推進委員長は地区会長または地区会長が推薦する者に変更

地区福祉推進委員長 41人(地区会長兼務34名)

地区福祉推進委員 428人(推進委員長含む)

(推進委員の任期は1期3年で、令和5年度は一部改選〔改選率19.2%〕)

ア 地区福祉推進委員研修の実施

○門川町福祉推進大会の開催

実施日	令和5年12月10日（日）午前10時00分から
場所	門川町総合文化会館
テーマ	やすらぎと生きがいのある みんなで創る共生社会のまちづくり
参加者	町民、関係役員、地区福祉推進委員、福祉団体他 219人
内容	開会行事 研修「門川町の地域課題とその取り組みについて」 講師 門川町社会福祉協議会職員

○地区福祉推進委員会への職員派遣

実施日	令和5年6月18日（日）
場所	古川公民館
内容	南町1区福祉推進委員会 ・地区行事計画(案) ・高齢者等要支援者の情報共有

実施日	令和6年2月13日（火）
場所	東栄町公民館
内容	東栄町地区福祉推進委員会 ・地区福祉推進委員の役割について ・一斉改選に伴う地区福祉推進委員の選任について

実施日	令和6年3月17日（日）
場所	加草5区公民館
内容	加草5区地区福祉推進委員会 ・いきいき百歳体操の実施と今後の取組について ・ICTと地区福祉活動について

イ 地区福祉推進委員長会の開催（年2回）

実施日	1回目：令和5年6月21日（水） 2回目：令和5年9月29日（金）
場所	門川町総合福祉センター
参加者	1回目：40人、2回目：36人
内容	1回目：新任研修…福祉ネットワーク事業の基礎 他 全体研修…社会福祉協議会事業、小地域ネットワーク事業 地域包括支援センター事業 2回目：地域包括支援センター・NPO法人『つながり』の事業

ウ 小地域見守り活動の充実

- ・安心カード登録者台帳更新
 (ひとり暮らし高齢者、高齢者のみの世帯、その他気になる世帯等)
 ※変更があった場合は随時更新

エ 活動費の助成

- ・地区福祉推進委員会活動費助成
 37地区 752,000円 (37地区 762,000円)
 1地区あたり 福祉推進委員数 × 2,000円
- ・地区自主活動支援 年3回以上の活動に対し年間30,000円助成
 34地区 1,012,000円 (37地区 1,001,000円)

敬老会、ひなまつり、七夕祭り、十五夜花火大会、クリスマス会、交流(グラウンドゴルフ、卓球バレー、子供・高齢者・父母会等)、餅つき、神社清掃、視察研修等

- ・年末年始事業助成
 27地区 270,000円 (22地区 215,911円)

高齢者宅への訪問(ケーキ・お菓子・お弁当配布、物品)、消火器訓練、交流会(柳もちづくり、食事、ゲーム)、いきいきサロン等

オ 福祉推進大会の開催(門川町社協主催)【再掲】

カ 福祉バス運行事業【町補助事業】

福祉バス運行し、高齢者の生きがいがづくり及び地区福祉推進活動支援を行いました。

(単位：回、人)

運行種別		回数	利用者
福祉バス 運行	県内	13 (5)	201 (86)
	県外	11 (3)	264 (78)
合計		24 (8)	465 (164)

②生活支援体制整備事業の受託【町受託事業】

ア 生活支援コーディネーターの配置(3名)

イ サービス開発に関する会議の企画・運営

○地域包括支援センターとの合同会議

実施日	令和5年 4月18日(火) 7月10日(月) 8月18日(金) 9月15日(金) 10月13日(金) 11月17日(金) 11月28日(火) 12月15日(金) 令和6年 1月18日(木) 3月5日(火)
場所	門川町総合福祉センター
内容	新規事業について(福祉用具の貸出し事業について) 介護予防活動について C型デイサービス事業について オレンジカフェについて 介護予防交流大会について 福祉推進大会委について ひとり歩き模擬訓練について

ウ 地区サロン等における買い物支援活動の推進
小松地区サロン活動における買い物支援活動の活動内容把握

エ 生活支援ボランティア養成研修会の開催
門川町福祉推進大会の開催【再掲】

オ 地域包括ケア会議への出席

実施日	令和5年9月22日（金）、11月15日（水）
場所	門川町役場3階会議室
内容	利用者状況、ケアプランの報告、各専門職による気づきや助言等

カ その他（研修会）

実施日	令和5年9月14日（木）
場所	宮崎県防災庁舎 7階研修室
内容	生活支援コーディネーター交流研修会

実施日	令和6年2月6日（火）
場所	宮崎県防災庁舎
内容	国東市生活支援コーディネーター事業の紹介 宮崎県の自殺の現状と対策

③ ICTを使った地域福祉活動の推進

- ア ICTを進めるための環境の整備（テレビ会議Zoomの活用）
- イ ICTを活用した事業の推進（ICTを活用した福祉活動の情報収集）
- ウ 新たな福祉活動の情報提供の実施（動画作成）
 - ・門川町社会福祉協議会紹介動画の作成

④福祉情報の提供とイベントの実施

住民への広報活動やイベントを通し、福祉意識の高揚を図ります。

ア 第28回福祉ふれあい祭り2023の開催

実施日	令和5年10月29日（日）
場所	門川町総合福祉センター
テーマ	「たすけあい ちいきでつながる ふくしのわ」 門川小学校 3年 森 彪冨 さん
参加者	町民、福祉団体、福祉施設および関係者 1,447人
内容	ふれあいステージ、ふれあい笑店街、福祉体験コーナー、 赤い羽根共同募金コーナー、キッズコーナーなど

イ 門川町福祉推進大会の開催【再掲】

(4) 総合相談・無料弁護士相談実績【町受託事業】

常設相談・無料弁護士相談を実施し、町民が抱えている心配ごとや専門的な事案に対し総合的に対処し、問題解決への相談に応じました。

○常設相談員の配置と無料弁護士相談の実施

事業名	開設日	開設時間
常設相談	月～金曜日(祝祭日除く)	午前9時～午後4時まで
無料弁護士相談	毎月第3火曜日	午後1時30分～午後4時30分まで

○相談件数 通常相談 110件(414件)
 弁護士相談 52件(73件)
 合計 162件(487件)

[]内は弁護士相談 (単位:件)

相談内容	件数	相談内容	件数
消費者金融	8 [8]	債権・債務	1 [1]
遺言相続	6 [6]	労働	2 [1]
離婚・その他家事	8 [8]	交通事故	1 [1]
不動産	19 [19]	消費者	3 [2]
損害賠償請求	4 [4]	その他	58 [2]
合計			110 [52]

(5) 障害児・者相談支援事業の推進【町受託事業】

障がいのある人の生活に関する悩みや様々な課題等について相談に応じ、情報の提供や障害福祉サービスの利用支援、権利擁護のための必要な援助を行いました。また、関係機関との連携を図り、地域住民に対して障がいの理解・啓発を行い、安心して暮らし続けられる地域づくりに努めました。

○相談員の配置 (1名)

○実利用者数 83人(101人)

○種別延件数 (単位:件)

相談件数	障がい種別(延)				
	身体	知的	精神	児童	※その他
720 (964)	210 (288)	96 (169)	166 (215)	127 (73)	121 (219)

※その他: 難病、手帳の未所持者等

○相談方法延件数 (単位:件)

相談方法				
来所	訪問	電話	文書	※その他
36 (42)	154 (227)	323 (379)	0 (0)	207 (316)

※その他: 個別支援会議、関係機関との連携等

○会議等の開催

【個別支援ケース会議】

実施日	随時 年15回(11)
場所	門川町総合福祉センター、門川町役場、門川小学校、病院 福祉サービス事業所、他
参加者	関係機関 延88人(64)
内容	生活困窮、不登校、権利擁護、サービス利用、就労、生活、 育児等

○会議等への参加

(単位：回)

会議名	参加回数
日向・東臼杵郡障がい者自立支援協議会および部会	22 (15)
日向・門川・入郷地区 就労・生活支援担当者会議	2 (2)
門川町地域活動支援センター運営会議	6 (6)
宮崎県障害者相談支援事業連絡協議会 (MSR)	12 (14)
かどがわっ子部会	2 (2)
生活困窮者支援会議・支援調整会議	3 (3)
つながりとの情報共有会議	5 (0)
その他	3 (1)
合計	55 (43)

○研修会等への参加

開催日	研修名
令和5年 7月13日(木)	障害者総合支援法に基づく集団指導
7月27日(木)・9月1日(金)	全国基幹センター強化研修
10月27日(金)	MSR県北ブロック秋の研修会
12月 4日(月)	障がい者虐待防止・権利擁護研修
12月 5日(火)	MSRスキルアップ研修
12月18日(月)	地域共生社会推進研修(プラン作成編)
令和6年 1月12日(金)	防災力強化研修
1月31日(水)	ブロック連協ハラスメント研修
2月 2日(金)	MSR県北ブロック春の研修会
3月 2日(土)	災害ボランティア立ち上げ訓練研修

○障がい理解・啓発に関する研修会の開催

実施日	令和6年 1月26日(金)
場所	門川町総合福祉センター
参加者	民生委員児童委員、地域福祉推進員、障がい福祉関係事業所 地域住民 他
内容	相談支援から見る身近な共生社会

実施日	令和6年 2月22日(木)
場所	門川町総合福祉センター
参加者	民生委員児童委員、地域福祉推進員、障がい福祉関係事業所 地域住民 他
内容	想いがつながる、町づくり

○計画相談

障がい福祉サービスを利用される方の相談支援、サービス計画の作成を行いました。

報酬請求延件数 (単位：件)

計画件数	モニタリング件数
15 (48)	40 (125)

(6) 地域活動支援センター事業の実施【町受託事業】

障がい者等を対象に生活訓練や創作活動を通して、日中過ごせる活動の場を提供しました。
(単位：日、人)

実施日数	実人員	延利用者数	一日平均利用者数
243 (243)	6 (5)	444 (542)	1.8 (2.2)

(7) 生きがいつくり・介護予防事業の実施

①福祉バスの運行事業【再掲】

②高齢者スポーツ活動助成

グラウンドゴルフ、四半的協会が開催するスポーツ大会に助成を行いました。
2団体 15,000円 (1団体 5,000円)

(8) 住民主体のボランティア活動の推進

①ボランティアセンター事業の推進

○ボランティア活動者

(単位：人)

項目	人数	団体名
ボランティアセンター 把握者数	1,873 (1,861)	・門川町高齢者クラブ連合会 ・地区福祉推進委員会 ・子ども見守りネットワーク活動者 ・災害ボランティア関係活動者他
ボランティアセンター 登録者数	443 (419)	・門川町ボランティア連絡協議会会員 団体 351人、個人 10人 ・福祉施設訪問ボランティア 人

ア ボランティア活動に関する協議への参加

- ・福祉教育に関する検討会への参加（教育の絆推進懇話会）（年3回）
- ・学校運営協議会への参加（各学校1名）

（単位：回）

会議名	回数
地域学校協働本部会	2
門川小学校	3
草川小学校	3
五十鈴小学校	3

イ 学生ボランティアの活動推進

- ・第28回福祉ふれあい祭りのボランティア活動（令和5年10月29日）

ウ ボランティア受給・調整・相談業務の充実

（単位：件、人）

相談件数	23 (12)
活動件数	21 (10)
活動者数	68 (54)

（相談・派遣内容）手話通訳、福祉体験学習、門松作成等

エ 行事等における託児ボランティア事業の推進

○実績数 2件

（単位：人）

学校名	行事等	利用児童数	ボランティア数
門川小学校	入学説明会	2	2
五十鈴小学校	入学説明会	5	3

②福祉教育の推進

ア 社会福祉普及推進校の指定

門川小学校、草川小学校、五十鈴小学校、門川中学校、門川高等学校（全5校）

イ 福祉体験サポーター育成研修会の開催

研修会名	1日手話教室
実施日	令和6年3月11日（月）
場所	門川町総合福祉センター
参加者	門川高校生4名、一般参加者1名、手話受講生11名、サークル8名、聴覚障がい者3名 合計27名

ウ 夏休みボランティア体験事業の実施

実 施 日	令和5年8月4日（金）
場 所	門川町総合福祉センター
内 容	児童ができる災害ボランティア活動 （災害グッズ、避難所用段ボールベッドの作成）

エ 活動費助成（1校につき年間上限50,000円で助成 事業申請型）

助 成 額	250,000円
内 容	子ども見守りネットワーク事業、施設利用者との交流、 環境美化活動、福祉体験学習、募金活動など

オ 教育の絆推進懇話会、学校運営協議会の参加
・学校運営協議会への参加【再掲】

カ 福祉体験学習の職員派遣

実 施 日	令和5年7月5日（水）
場 所	門川小学校
内 容	車いす体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験

実 施 日	令和6年1月31日（水）
場 所	五十鈴小学校
内 容	車いす体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験

実 施 日	令和6年2月28日（水）
場 所	草川小学校
内 容	車いす体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験

③子ども見守りネットワーク事業の推進

児童・生徒の安心・安全な地域づくりを目的として事業を行いました。

ア 子ども見守りネットワーク推進会議の開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

イ 子ども見守り活動の広報の充実（社協だよりによる広報 年5回）

ウ 登下校時の見守り活動の実施

- ・見守り登録者への更新案内（令和5年6月）
- ・見守り登録者数 380人（386人）

登録団体名：門川町民生委員児童委員協議会、門川町高齢者クラブ連合会、
門川町ボランティア連絡協議会、門川町婦人団体連絡協議会、
町内小中学校、地区福祉推進委員会、いすず保育園、草川保育園、
（株西の丸、商工会他
門川小学校区（10団体、個人4名）、草川小学校区（11団体、個人2名）
五十鈴小学校区（13団体）、町内全域（8団体）

エ 青色回転灯装備車による巡回運行パトロールの実施

- ・入学、新学期時のパトロール実施
- ・町と連携し、夜間パトロールを週に1回
（午後5時30分から午後6時30分まで実施）

登録団体名：門川町役場、（株西の丸、五十鈴小学校PTA、草川見守り隊、
門川小学校PTA、門川町社会福祉協議会

④災害ボランティアに関する事業の推進

ア 災害ボランティア運営に関する研修会の参加

研 修 会 名	日向・東臼杵郡 災害ボランティアセンター運営研修会
実 施 日	令和6年3月2日（土）
場 所	美郷町生き生きトレーニングセンター（美郷町）
参 加 者	日向・東臼杵ブロック社協職員（本会3名参加）

イ 災害ボランティア推進協議会の開催（インフルエンザ感染拡大により中止）

ウ 避難行動要支援者等に関する情報共有

- ・民生委員児童委員協議会との情報共有の実施
- ・地区福祉推進委員会との要援護者情報の共有

エ 災害ボランティアの啓発・広報

- ・社協だよりによる情報提供（令和5年9月号）

⑤住民参加型在宅福祉サービス「たんぼぼ会」
住民相互の支えあい・たすけあい活動を行いました。

ア 住民参加型在宅福祉サービス「たんぼぼ会」活動支援

・サービス提供状況 協力会員 5人(7人) 利用会員 33人(32人)
(単位:人、回、時間)

区分	実利用人数	派遣回数	派遣時間
家事援助	33 (31)	516 (526)	973 (936.5)
身体介護	0 (0)	0 (0)	0 (0)
育児支援	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	33 (31)	516 (526)	973 (936.5)

イ 生活支援ボランティア養成研修の実施
門川町福祉推進大会の開催【再掲】

(9) 関係機関・団体とのネットワーク形成

①福祉団体の育成支援事業の推進

ア 事務局業務

団体名	活動内容
門川町民生委員児童委員協議会	総会、監査(年1回)、 正副会長会(5回)、運営委員会(5回)、 定例会(12回) 毎月第3木曜日
門川町高齢者クラブ連合会	総会(年1回)、理事会(年4回) 会長・女性部長合同会(年2回) 会長・女性部長・会計合同会(年2回) 監査(年1回) 高齢者クラブ大会、さわやか運動会、 グラウンドゴルフ大会
門川町ボランティア連絡協議会	総会(年1回) 理事会(年6回)、会員研修会(年2回) 監査(年1回) クリーン作戦、団体情報交換会

イ 活動費助成

福祉団体、当事者団体等の育成および支援を目的に、活動費助成を行いました。
4団体 143,000円(5団体 151,000円)

(単位:円)

団体名	事業内容	助成金額
門川町高齢者クラブ連合会	単位クラブ活動支援	68,000
門川町ボランティア連絡協議会	会員研修会、情報誌発行	35,000
門川手話サークル	聴覚障がい者と手話講習生の 交流活動	20,000
門川町更生保護女性会	児童の訪問活動	20,000

②関係機関との連携及び会議の開催

ア 福祉施設連絡会（研修会 年1回）
門川町福祉推進大会【再掲】

イ 子ども見守りネットワーク推進会議【再掲】

ウ 災害ボランティア推進協議会【再掲】

エ 他市町村生活支援コーディネーターとの連携
生活支援コーディネーター交流研修会の参加【再掲】

オ 日向・東臼杵ブロック社協連協事業への参加

○理事会

実 施 日	令和5年5月15日（月）
場 所	日向市総合福祉センター
出 席 者	職員2名
内 容	令和4年度事業報告及び決算報告について 令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

○研修会

実 施 日	令和6年1月31日（水）
場 所	日向市総合福祉センター
出 席 者	管理職等職員 7名
内 容	管理職向けハラスメント研修 講師 オフィスアール 島原 竜一 氏

実 施 日	令和6年2月2日（金）
場 所	美郷町西郷ニューホープセンター
出 席 者	職員5名
内 容	改正相続登記制度について 講師 司法書士 馬崎 さやか氏

カ 日向・東臼杵郡自立支援協議会への参加（年3回）

キ 福祉施設合同事業の実施（令和5年12月）
草川地区の福祉施設間交流を目的に実施していた餅つきおよび鏡餅づくりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和5年度も中止となりましたが、ふれあい地球館の利用者及び職員が作成した鏡餅を希望する施設に配布しました。

ク 災害ボランティアセンター運営研修会【再掲】

(10) 低所得者支援および日常生活支援

①生活困窮者自立相談支援事業【町受託事業】

ア 一次相談窓口業務に関すること (単位：件、人)

相談件数	127 (来館 16、電話 79、訪問 22、その他 10)
相談者	43
相談内容	収入・生活費、債務・税金等の未納・差押え、住まい、仕事探し・就労、引きこもり・不登校・DV・虐待等

イ 生活困窮者関係機関との連携
他機関連携の個別相談支援会議・研修 12回

②生活困窮者に関する支援事業

ア フードバンク事業

生活困窮者から相談を受け、必要な方に食糧の提供を行いました。

(単位：件、人)

相談件数	申請件数	決定件数	実利用人数
53 (51)	52 (48)	52 (48)	29 (46)

イ 要支援者宅清掃事業 (単位：件)

対象世帯	件数
高齢者世帯	0 (2)
障がい者世帯	0 (0)
その他	0 (0)
合計	0 (2)

ウ 法外援護事業

行路人や浮浪者など、法的に援助・支援されない者を対象に1回につき隣接市町村への交通費相当額500円を支給する事業。

令和5年度 0件 (1件)

③門川町成年後見事業【町受託事業】

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等の判断能力が低下した方に対し職員が法人を代理して、成年後見制度に基づき財産管理や身上監護を行い支援しました。

受任者	4名
定期支援	月1～2回 成年後見支援員(2名) ※突発的な事項等については後見専門員が対応
内容	年1回、裁判所への書類提出(3名) 定期的な支援(月1～2回) ケース会議への参加(随時)

ア 成年後見センターかどがわの運営
後見専門員 1名、後見支援員 2名

イ 成年後見センターかどがわ運営委員会及び監査の実施

○成年後見センターかどがわ運営委員会の開催

日 時	1回目 令和5年 6月30日(金) 2回目 令和5年11月27日(月) 3回目 令和6年 3月25日(月)
場 所	門川町総合福祉センター 会議室
出 席 者	1回目 運営委員5名、事務局7名 2回目 運営委員4名、事務局7名 3回目 運営委員4名、事務局7名
内 容	事業報告、要項等の改正について、受任について

○成年後見センターかどがわ 監査の実施

日 時	1回目 令和5年 6月30日(金) 2回目 令和5年11月27日(月) 3回目 令和6年 3月25日(月)
場 所	門川町総合福祉センター 会議室
出 席 者	1回目 監事2名、事務局3名 2回目 監事2名、事務局3名 3回目 監事2名、事務局3名
内 容	事業執行状況・支援内容の確認

※監査内容を本会監事に書面にて報告した。

ウ 人材育成

○後見支援員の育成及び専門員研修

期 日	令和5年11月29日(水) 10:00~15:50
場 所	門川町総合福祉センター(オンライン)
内 容	宮崎県社会福祉協議会主催 成年後見制度市町村職員等フォローアップ研修 2名参加

④資金貸付事業

ア たすけあい金庫貸付事業【本会自主事業】

○相談件数、貸付額 (単位：件、円)

相談件数	申請件数	決定件数	金 額
16 (17)	7 (12)	7 (12)	380,000 (420,000)

○不能欠損処理

借入者死亡または借入者所在不明等貸付金償還困難な方の不能欠損処理の規程を整備し処理を行った。(令和6年3月実施)

不能欠損処理 10人 (単位:人)

項目	人数
本人死亡	3
本人状況変化・生活保護になる	0
本人所在不明	7
その他	0

イ 生活福祉資金【県社協受託事業】

低所得者・高齢者・障がい者の貸付対象世帯に対する資金の貸付と必要な相談援助。

○相談件数、貸付額 (単位:件、円)

相談件数	相談延件数	申請件数	決定件数	金額
19(18)	20(21)	2(5)	1(5)	1,907,000(3,197,000)

ウ 生活福祉資金(新型コロナウイルス感染症特例貸付)の償還指導と生活相談貸付の相談窓口業務は令和4年度までの事業。

令和5年度は借入者に対する免除申請支援及び生活相談の実施。

○免除申請 (単位:件)

申請件数	決定件数
6	6

○生活相談 (単位:件)

相談件数	内 訳	
	本人からの相談	社協からの相談
153	57	96

⑤日常生活自立支援事業の実施【県社協受託事業】

認知症、知的障がい者、精神障がい者等の判断能力が不十分な方、生活に不安のある高齢者等が、地域において安心して自立した生活が送れるよう支援しました。

○専門員の配置 1名、生活支援員の配置 3名

○実利用者、契約者数 ※令和6年3月31日現在 (単位:人、回)

実利用者数	新規契約者数	契約解除数	延支援回数
25(20)	6(4)	1(2)	508(508)

⑥福祉用具貸出事業（日常生活支援）（単位：台）

福祉用具	通常貸出	短期貸出
電動ベッド	13 (12)	0 (1)
車椅子	21 (19)	19 (26)
その他	5 (5)	28 (11)
合計	39 (36)	47 (38)

(11) 子育て支援事業の推進

放課後児童対策事業（児童クラブ）【町受託事業】

※登録児童数は令和 6.3.31 現在

（単位：日、人）

校区名	実施場所	開館日数	登録児童数	延べ利用者数
門川小学校区	中央公民館	293	35	6,399
草川小学校区	草川小学校	205	5	963
合 計			40	7,362

(12) 障がい者福祉サービス

①コミュニケーション支援事業（手話通訳派遣事業）【町受託事業】

聴覚障がい者に手話通訳者を派遣します。（単位：件、回、人）

相談件数	派遣回数	利用者	派遣延人数
9 (16)	2 (3)	2 (3)	6 (9)

※相談件数の内 7 件は職員による手話通訳による相談（利用者 1 名）

②専門ボランティアの育成支援

○手話勉強会の支援

活動助成金の支給、勉強会の実施支援を行いました。

・助成額 60,000 円

（単位：回、人）

実施回数	47 (40)
延参加者	528 (456)

○点訳活動支援

定例会場貸出（社協だよりの点訳活動 原則として毎月第 2 水曜日）

③点字版「社協だよりの発行（協力 門川点訳サークル「点とうむし」）

配布先 町内視覚障がい者 世帯 12 回（2 世帯 12 回）

2) 在宅福祉事業の推進

利用者が望む自宅での生活が継続できるように、介護保険法および障害者総合支援法等の制度事業を実施し、機能維持、介護度改善、家族介護負担の軽減に努め、介護や予防援助を必要とする利用者の在宅生活を支援しました。

(1) 在宅福祉課の実施項目（共通事項） () 内は昨年度実績

- ① ICTを活用した情報共有、会議や研修会等への参加
- ② 感染症防止対策の継続、その他、虐待防止や身体拘束等の委員会の開催
(現状把握、情報共有等)
- ③ 賃金改善や職場環境の整備による介護職員等の処遇改善

(2) 居宅介護支援事業の実施

① 介護支援専門員による相談援助業務

利用者・家族の心身の状況等を把握し、自宅で生活する上での困りごとの相談援助を行いました。また、介護サービス事業所等と情報を共有し、ケアプラン作成とサービス利用の支援に努めました。

- ・ 介護支援専門員 4人 (4人)
- ・ 実利用人数 132人 (153人)
- ・ 居宅介護支援延件数 (単位：件)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
429 (429)	423 (506)	177 (219)	134 (145)	8 (35)	1,171 (1,334)

(3) デイサービス事業の実施（開所日数：259日）

利用者の心身機能の維持や改善、孤立感の解消、家族の介護負担軽減などを目的にデイサービス事業を実施しました。

新型コロナウイルス感染症の予防に努め、職員及び利用者やその家族も徹底し、事業を休止することなくサービス提供を継続しました。

① 通所介護事業

ア 介護保険事業

- ・ 利用状況 (単位：人)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
実利用者数	20 (16)	22 (28)	5 (7)	3 (3)	1 (1)	51 (55)
延利用者数	1,659 (1,575)	2,554 (2,806)	497 (590)	262 (163)	96 (131)	5,068 (5,265)

イ 介護予防・日常生活支援総合事業(通所型サービス)

- ・ 利用状況 (単位：人)

	要支援1	要支援2	事業対象者	合計
実利用者数	4 (7)	18 (24)	15 (20)	37 (51)
延利用者数	186 (175)	1,248 (1,520)	1,175 (1,051)	2,609 (2,746)

②基準該当生活介護事業の実施

障がい者の社会参加や自立促進、生活の質の向上等を目的に実施しました。

・利用状況

(単位：日、人)

実施日数	実人員	延利用者数	1日平均利用者数
95 (93)	1 (1)	95 (93)	1 (1)

③事故・苦情等の状況

(単位：件)

区分	件数	内 容	今後の対応
ケア事故	5	<ul style="list-style-type: none"> ・浴室で洗体イスよりずり落ちる。 ・浴室で洗体時に皮膚剥離。 ・器械の順番待ちの際長椅子前で転倒。 ・薬を重複服用させる。 ・服薬の対応を忘れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴時の見守り・職員間の連携の強化。 ・動作時の見守り強化。 ・内服薬の把握と職員間の連携の強化。
車輛事故	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック塀に接触する。 ・停車中の車と接触する。 ・側溝にタイヤを落としかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運転をする際、前方確認。 ・車間距離を取る等、安全運転の徹底。

(4) ホームヘルプサービス事業の実施(開所日数：366日)

利用者の自宅に訪問し、要支援・要介護の認定を受けた利用者が自宅での生活が継続できることを目的にホームヘルプサービス事業を実施しました。

新型コロナウイルス感染症予防対策を整え業務にあたり、濃厚接触者となった場合でもサービスの利用継続に努めました。

①訪問介護事業

ア 介護保険事業

・実利用者数 19人(17人)

・利用状況

(単位：回、時間)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
延派遣回数	683 (995)	785 (445)	528 (674)	4 (526)	566 (642)	2,566 (3,282)
延派遣時間	638.25 (980.5)	753.83 (444.67)	281.75 (427.25)	3.58 (520.25)	287 (425.5)	1,964.41 (2,798.17)

イ 介護予防・日常生活支援総合事業(訪問型サービス)

・実利用者数 19人(24人)

・利用状況

(単位：回、時間)

	要支援1	要支援2	事業対象者	合計
延派遣回数	131 (273)	552 (588)	359 (481)	1,042 (1,342)
延派遣時間	128.08 (272.0)	546.33 (586.83)	355.5 (481.0)	1,029.91 (1,339.83)

②障害者総合支援法のホームヘルプサービス

(居宅介護、重度訪問介護、同行援護、移動支援)

障がい者に対しホームヘルパーを派遣し、在宅の生活を支援しました。

・居宅介護 (宮崎県指定事業) (単位：人、回、時間)

実利用者人員	延派遣回数	延派遣時間
7(7)	591 (2, 937)	554.25 (1, 715.17)

・重度訪問介護 (宮崎県指定事業) (単位：人、回、時間)

実利用者人員	延派遣回数	延派遣時間
1(0)	155 (0)	150.67 (0)

・同行援護 (宮崎県指定事業) 対象：視覚障がい者 (単位：人、回、時間)

実利用人員	延派遣回数	延派遣時間
4(5)	23 (32)	45.83 (72.83)

・移動支援 (門川町指定事業)

対象：外出支援を必要とする障がい者

(単位：人、回、時間)

実利用人員	延派遣回数	延派遣時間
2(1)	37 (23)	69.33 (47.5)

※1名は身体障がい者

③事故・苦情等の状況

区分	件数	内容	今後の対応
ケア事故	2件	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問忘れ ・デイ迎えを待つ間、立位で靴を履く際に転倒 	<ul style="list-style-type: none"> ・シフト変更の連絡、確認の徹底 ・椅子を使う等の対応をとる ・声かけ、見守りの徹底

(5) 実習の受入

(単位：人、日)

事業名	実人数	実日数	実習生
居宅介護支援事業所	2	3	介護支援専門員実務研修
通所介護事業 (介護予防)	3	2	土々呂中学校 2年生
訪問介護事業 (介護予防)	—	—	

3) 地域包括支援センター事業推進

地域住民が抱える悩みや生活課題に対して包括的に支援する「総合相談窓口」として、社協内部の関係課と調整及び保健・医療・福祉の関係機関や行政と連携を図り、地域住民の生活課題解決に向けて相談事業を実施しました。

また、感染症等の予防を行いながら、心身の健康増進と保持を目的とした介護予防事業や認知症施策の推進やリモートによる会議や研修の参加などICTの活用に取り組みながら実施しました。

(1) 一般介護予防事業

() 内は昨年度実績

①介護予防教室

実施地区	35地区 (27地区)
場所	各地区公民館
参加者	322人 (240人)
内容	・脱水、認知症、尿漏れについて ・介護保険制度について

介護予防教室 (栄養教室)

実施地区	6地区
場所	各地区公民館
参加者	75人
内容	・栄養に関すること (講話、塩分測定など)

②介護予防チャレンジ教室

栄ヶ丘、三ヶ瀬地区住民を対象に実施

(単位：人、回)

参加者	回数	内容
28人 延べ116人 (10人 延べ29人)	18 (4)	介護予防の講話、百歳体操 レクリエーション等

③いきいき百歳体操

(単位：会場、人)

実施地区	39会場 / 38地区 (39会場 / 37地区)
場所	各地区の公民館等
参加者数	延べ1,604人 (1,147人)

④体力測定

(単位：会場、人)

実施地区	36 (30)
参加者数	333 (261) [内訳] 男 63 女 270 (男 44 女 217)

⑤いきいきサロン活動支援（フォローアップ）

実施地区	6会場／6地区（7会場／6地区）
場所	各地区公民館
参加者	82人（99人）
内容	百歳体操指導、卓球バレー、卓球バレーフォローアップ、 カローリング等

⑥ノルディックウォーク

（単位：会場、回、人）

	会場	回数	参加者数（延）
サークルフォローアップ	4（9）	10（18）	41（124）
出前教室	1（2）	5（2）	26（17）
固定教室	1（1）	5（7）	45（51）
体験教室	2（3）	4（8）	41（81）
新規者向け体験交流会	1（1）	1（1）	15（7）
サークル向け交流会	1（2）	1（2）	12（21）

⑦スクエアステップ

（単位：人、回、時間）

	会場	回数	参加者数
実施会場フォローアップ	1（1）	1（1）	7（5）
介護予防チャレンジ教室	1（1）	1（1）	6（6）

⑧パワーリハビリ教室（令和5年4月～9月まで）利用実人数

（単位：人）

	期間回数	二次予防対象者	要支援認定者	一般高齢者	障がい	合計
通常コース （午前）8クール	3ヶ月 週2回	11 (41)	3 (4)	15 (22)	0 (0)	29 (67)
フォローアップ （午前）2クール	6ヶ月 週1回	14 (16)	1 (1)	7 (0)	0 (0)	22 (17)
地域開放型 （午後）	—	27 (28)	1 (1)	29 (20)	— —	57 (49)

*サポーター数2人（2）

通所型サービス（短期集中サービス）利用実人数【新規】（令和5年10月試行）

（単位：人）

	期間回数	二次予防対象者	要支援認定者	合計
通常コース （午前）8クール	3ヶ月 週2回	6	4	10

⑨介護予防事業サポーター交流会

実施日	令和5年7月12日(水)
場所	門川町役場 3階会議室
参加者	40人
内容	講話：「高齢者虐待を防止しよう」 「セルフネグレクトについて」 講師：宮崎県社会福祉協議会 高齢者権利擁護センター職員

⑩介護予防大交流会

実施日	令和5年10月4日(水)
場所	門川町総合文化会館
参加者	230人
内容	表彰(下記掲載) アトラクション

(単位：地区、人)

受賞者数内訳	地区	人数
ご長寿賞	2(3)	2(3)
がんばったで賞(百歳体操)	31(32)	33(32)
がんばったで賞(ノルディックウォーク)	0(1)	0(1)
感謝状(パワーリハビリ)	1(1)	1(2)
感謝状(ノルディックウォーク)	1(1)	1(1)

⑪介護予防担い手育成講座

実施回数	5回[8月~11月](10回)
場所	門川町総合福祉センター
参加者	16人 延べ65人 (9人 延べ62人)
内容	介護予防活動の担い手に必要な知識の講義と演習 必須講座を修了した5人のサポーターへ認定証を授与

⑫自炊力向上チャレンジ教室

低栄養のリスクの高い独居高齢者を中心に、食事の大切さを理解し、自力で献立と調理ができる食生活の改善が図れるよう支援しました。

実施回数	4回(3回)
場所	個人宅
参加者	3人 (12人 延べ30人)
内容	自宅訪問し個別でアセスメント、個別指導

⑬介護予防活動の支援と協力

*新型コロナウイルス感染症法の位置づけが2類から5類へ変更となり、予防活動が再開。地区と連絡を取り、活動が活性化できるように支援を行いました。

(2) 認知症施策支援事業

①認知症サポーター養成講座の開催

認知症の人やその家族を地域で支えていくために、病気や症状について正しく学び、接し方や心構え等、理解できるように努めました。(単位：人)

実施日	場所	参加者
令和5年 9月20日(水)	門川町総合福祉センター	介護予防担い手育成講座 14
10月2日(月)	門川町立図書館	図書館職員 14
11月17日(金)	庵川東公民館	庵川東地区住民 30
令和6年 2月26日(月)	門川高等学校	福祉課1年生 18

②認知症ひとり歩き模擬訓練

○広報啓発：「ひとり歩き模擬訓練」では、発見の連絡からその後の対応までのやりとりを「見守りシール」を活用して実施。

実施日	令和6年3月10日(日)
場所	庵川東地区
参加者	36人
内容	概要説明、捜索・声かけ・通報連絡、意見交換、まとめ

※見守りシール…認知症等により行方不明となるリスクのある対象者の持ち物や衣服に貼ることで早期発見につながるアイテム。

③会議・研修への参加

(単位：回)

会議・研修名	回数
認知症地域支援推進会議	3(10)
認知症地域支援体制づくりのための研修等	2

④認知症初期集中支援事業

(単位：人、回)

認知症初期集中支援チームとの連携	内訳
初期相談対応人数	5(3)
訪問回数	14(43)
初期集中支援チームへの紹介人数	5(3)
会議参加回数	12(12)

(3) 包括的支援事業

①高齢者等相談支援

○相談者延件数

単位：(人)

来所	訪問	電話	書面	その他	合計
295 (315)	447 (657)	2,807 (1,816)	190 (163)	74 (275)	3,813 (3,226)

○相談者内訳延件数

単位：(人)

本人	1,853 (1,249)	ケアマネ	114 (214)	医療関係	539 (457)
家族(同居)	439 (405)	役場	84 (182)	北部福祉 こどもセンター	9 (13)
家族(別居)	525 (360)	事業所	100 (179)	その他	46 (39)
近隣者	27 (40)	民生委員	77 (88)	合計	3,813 (3,226)

○相談内容別延件数

単位：(人)

身体に関すること	2,248 (1,711)	権利擁護に関すること	2 (2)
認知症に関すること	574 (658)	実態把握訪問	72 (135)
疾病に関すること	116 (199)	障がいに関すること	39 (47)
高齢者虐待に関すること	45 (34)	その他	472 (440)
合計 3,568 (3,226)			

②地域におけるネットワークとの連携及び支援

- ・地区福祉推進委員会(再掲)

令和5年6月18日(日)	南町1区公民館	地域課題について意見交換会
--------------	---------	---------------

③高齢者支援に関する情報発信

おとじま通信 (社協だより)	毎月	・介護予防事業 ・高齢者の食事 ・認知症の正しい理解 等掲載
ホームページ	随時更新	
エフエム ひゅうが	令和5年 5月12日(金) 12月 8日(金)	・ノルディックウォークについて ・認知症ひとり歩き模擬訓練について

④関係機関との連携

ア 各種関係機関会議の参加

会議名	地域密着型サービス運営推進会議
場 所	町内地域密着型サービス 各介護サービス事業所（5）
参加者	利用者家族、民生委員、地区住民等
内 容	・利用者の状態や活動状況についての報告 ・入退去の状況 ・事故報告 ・家族や地域住民等と意見交換

会議名	門川町地域ケア会議
場 所	門川町役場会議室
参加者	行政、理学療法士、作業療法士、歯科衛生士、管理栄養士 介護支援専門員 等
内 容	・要介護・要支援認定者の個々の日常生活における支障や課題を 共有し専門職からの助言や社会資源の検討 ・個々の日常生活における課題から地域課題へ置き換え必要な社 会資源の検討

会議名	門川町国民健康保険運営会議
場 所	門川町役場会議室
委 員	民生委員、町議会議員、医師、歯科医師、薬剤師、 地区会長等 14名
内 容	・国民健康保険税について ・国民健康保険事業の取組みについて ・国民健康保険事業の運営について ・第3期門川町保険事業実施計画について

イ 介護支援専門員連絡会の開催

介護支援専門員の資質の向上を目的に、各種研修の実施・行政機関との意見交換等を行いました。

実 施 回 数	4回 （8回）
場 所	門川町総合福祉センター
参 加 者	町内介護支援専門員 延べ82人（延べ159人）
内 容	・障害福祉サービスについて、事例検討、意見交換会 等 ・薬剤管理、服薬ロボット紹介、 ・避難支援における介護支援専門員の役割

⑤権利擁護業務

(単位：回)

ケース会議	9 (7)
	議 題：退院後の支援について 等
在宅高齢者等宅清掃活動【再掲】	1 (2)
	対象者：障がい者世帯

(4) 介護保険事業

要支援1、2、総合事業対象者と認定された高齢者等に対してサービス計画を作成し、自立に向けた支援を行いました。

○介護報酬請求件数

(単位：件)

	介護報酬請求延件数	内新規	自立実件数
介護予防支援	1,734 (1,583)	64 (41)	8 (3)
介護予防ケアマネジメント	595 (738)	29 (40)	5 (5)
合計	2,329 (2,321)	93 (81)	13 (8)

○特定福祉用具購入、住宅改修のみの利用者対応

(単位：人)

	要支援1	要支援2	要介護	合計
特定福祉用具購入のみ	3 (0)	3 (0)	1 (0)	7 (0)
住宅改修のみ	8 (7)	10 (10)	5 (6)	23 (23)
福祉用具購入と住宅改修	4 (0)	3 (0)	2 (0)	9 (0)
合計	15 (7)	16 (10)	8 (6)	39 (23)

4) 法人経営体制の充実

() 内は昨年度実績

(1) 役員会、評議員会の充実、職員の資質向上

①役員会、評議員会の開催

・理事会 3回

実施日	令和5年6月9日(金)
出席者	理事5名(欠席1名)、監事2名、職員9名
主な議題	<ul style="list-style-type: none"> ・次期理事・監事候補者について ・令和5年度収支補正予算について ・令和4年度事業報告及び収支決算書について ・定時評議員会の招集事項について

実施日	令和5年6月27日(火)
出席者	理事6名、監事2名、職員9名
主な議題	<ul style="list-style-type: none"> ・会長の選定について ・副会長の選定について

実施日	令和6年3月18日(月)
出席者	理事6名、監事2名、職員9名
主な議題	<ul style="list-style-type: none"> ・旅費規程の一部改正について ・経理規程の一部改正について ・令和5年度収支補正予算について ・令和6年度事業計画及び収支予算について ・評議員会の招集事項について

・評議員会 2回

実施日	令和5年6月27日(火)
出席者	評議員7名、役員(会長1名、監事2名)、職員9名
主な議題	<ul style="list-style-type: none"> ・次期理事・監事の選任について ・令和5年度収支補正予算について ・令和4年度事業報告及び収支決算書について

実施日	令和6年3月28日(木)
出席者	評議員6名(欠席1名)、会長1名、職員9名
主な議題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度収支補正予算について ・令和6年度事業計画及び収支予算書について

②監査・調査の実施

期日	監査名・実施者	監査内容
令和5年 5月22日(月) 23日(火)	外部監査 (木山会計事務所)	令和4年度決算監査
令和5年 5月31日(水)	社協監査 (社協監事)	令和4年度事業、 決算監査
令和5年 8月24日(木)	日常生活自立支援事業 訪問調査 (宮崎県社会福祉協議会)	日常生活自立支援事業
令和5年10月11日(水)	日常生活自立支援事業 訪問調査 (県運営適正化委員会)	日常生活自立支援事業
令和5年10月17日(火)	補助団体等に関する監査 (町監査委員)	令和4年度事業、 決算監査
令和5年11月13日(月) 14日(火)	外部監査 (木山会計事務所)	令和5年度中間監査

③職員研修、職員派遣

(単位：回、人)

区分	回数	人数	主な内容
外部研修	73(69)	133(90)	県社協等主催研修会、高齢者虐待研修等
内部研修	30(47)	216(297)	職員全体研修(個人情報保護、防災対策等) 職員各課・係研修会等
職員派遣 (会議)	185(175)	203(227)	地域ケア会議、介護認定審査会等
職員派遣 (講師等)	5(16)	6(12)	福祉教室・体験学習、 認知症サポーター養成講座等

(2) ICT化推進の検討

職員ワーキングチームの開催

日常業務や研修会等でのICT活用の検討を行いました。

(3) 自主財源の確保

①会費

(単位：件、円)

種 別	件 数	金 額
一 般 会 費	5,063 (5,143)	1,822,680 (1,851,540)
賛 助 会 費	572 (558)	1,194,000 (1,185,000)
合 計	5,635 (5,701)	3,016,680 (3,036,540)

②寄付

(単位：件、円)

種 別	件 数	金 額
香 典 返 し	109 (109)	3,735,000 (3,376,072)
一 般 寄 付	7 (5)	231,532 (228,000)
合 計	116 (114)	3,966,532 (3,604,072)

(4) 赤い羽根共同募金運動の展開

①宮崎県共同募金会門川町共同募金委員会事務局業務

ア 運営委員 12名

イ 監査の実施

実施日	令和5年6月2日(金)
場所	門川町総合福祉センター 診察室
出席者	監事 2名、事務局 4名
内容	令和4年度事業報告、決算監査

ウ 共同募金運営委員会の開催

○1回目

実施日	令和5年6月29日(木)
場所	門川町総合福祉センター 会議室
出席者	委員 12名、事務局 4名
内容	令和4年度事業報告、決算について 令和5年度事業計画、予算について 役員選出について

○2回目

実施日	令和5年9月29日(金)
場所	門川町総合福祉センター 会議室
出席者	委員 9名 事務局 4名
内容	令和5年度共同募金活動事業計画について

エ 「赤い羽根共同募金だより」の発行(令和6年3月)

配布先 町内全世帯、町内事業所等(6,200部作成)

オ カプセル玩具販売機「ガチャガチャ」募金活動

カ 「赤い羽根共同募金運動」支援自動販売機設置

設置場所 かどがわ温泉心の杜

②募金実績

共同募金運動の推進(令和5年10月1日~12月31日)

募金総額 4,381,513円(4,428,479円)

[募金目標額 3,804,000円 達成率 115.0%]

(単位:円)

募金種別	金額
戸別募金	2,994,400 (3,022,600)
大口・法人募金	1,053,300 (1,093,000)
職域募金	41,250 (59,000)
地域募金	75,011 (18,301)
学校募金	79,568 (111,096)
街頭募金	46,971 (45,433)
その他	91,013 (79,049)

(5) 財務状況の公開

予算、決算状況を社協だより及びホームページにおいて公開しました。

(6) 情報公開制度の推進

- ①「社協だより」の発行【再掲】
- ②ホームページによる情報提供【再掲】

(7) 情報提供の推進

- ・社会福祉協議会パンフレットの作成（500部作成）【新規】
- ・社協だよりの発行（第340号～第351号）【再掲】
- ・町内掲示板、班回覧の活用
- ・ホームページによる情報提供【再掲】
- ・FMひゅうが出演による情報提供

(8) 苦情解決への取り組み

本会の福祉サービスを適切に利用できるよう支援するために、苦情解決委員を選任しています。

(9) 施設管理【町受託事業】

門川町より指定管理者の指定を受け総合福祉センターの適正かつ円滑な管理に努めました。（指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日）

- ・開館日数 263日
- ・年間利用者数 18,087人（17,004人）
（内有料貸出 1回）

消防総合訓練

令和6年2月28日（水）職員及びサービス利用者

(10) 労務管理

- ①「労働基準法」「労働安全衛生法」等に基づき、社会保険労務士の指導のもと、適正な労務管理に努めました。
- ②労働基準法の改正による働き方改革に伴い職員の処遇改善を図りました。
- ③宮崎県の「仕事と家庭の両立応援宣言」に基づき、職員が働きやすい職場づくりを目指しました。
- ④労働安全衛生法に基づき、職員の心身の健康保持のため、健康診断及びストレスチェックを産業医の指導のもと行いました。

(11) 災害支援の取り組み

令和5年大雨災害義援金、令和6年能登半島地震義援金活動に取り組みました。